

令和4年4月26日（訂正版）

東京都高等学校体育連盟
柔道専門部加盟高等学校長殿
柔道部責任教諭殿

東京都高等学校体育連盟柔道専門部
部長 小宮 徳 健
《公印略》

第71回東京都高等学校対抗柔道大会 兼 第70回関東高等学校柔道大会東京都予選会

1. 期 日

令和4年5月5日（木） 8:30～10:00選手受付・計量（時差を設定） 11:00試合開始
男子団体試合・女子団体試合

2. 会 場

東京武道館（足立区綾瀬3丁目20番）

3. 引率・監督

東京都高等学校体育連盟柔道専門部「大会実施規程 I. 大会について 3. 引率・監督」を参照すること。

4. 参加資格

東京都高等学校体育連盟柔道専門部「大会実施規程 I. 大会について 4. 参加資格」を参照すること。

5. 参加制限

① 男子団体試合（点取り試合）

- ア 各支部12校までとする。支部大会にて3位決定戦を行うこと。
- イ 前年度優勝校を第1シード、前年度準優勝校を第2シード、前年度第3位校を第3シード、前年度第4位校を第4シードとし、支部大会を免除する。
- ウ チーム編成は、監督1名、選手5名（先鋒から軽量級3名・無差別2名）、補欠2名（軽量級1名・無差別1名）の計8名とする。
- エ 体重区分は、軽量級73kg以下とする。ただし、補欠の出場は登録した階級に限る。
- オ 軽量級の選手登録が2名の場合には先鋒を空位とすること。同じく1名の場合には先鋒・次鋒を空位とすること。
- カ 無差別の選手登録が1名の場合には副将を空位とすること。
- キ 但し、1回戦開始時点で補欠が不在のチームにおいて、大会中に欠員が生じた場合には後ろ詰めにはせず、欠員の位置を空位とすること。
- ク 外国人留学生のチーム人員は1名以内とする。

② 女子団体試合（点取り試合）

- ア オープン参加とする。
- イ 但し、支部大会を実施し、シード順を決定すること（3位決定戦も行う）。
- ウ 前年度優勝校を第1シード、前年度準優勝校を第2シード、前年度第3位校を第3シード、前年度第4位校を第4シードとし、支部大会を免除する。
- エ チーム編成は、監督1名、選手3名（先鋒から軽量級2名・無差別1名）、補欠2名（軽量級1名・無差別1名）の計6名とする。
- オ 体重区分は、軽量級57kg以下とする。ただし、補欠の出場は登録した階級に限る。
- カ 軽量級の選手登録が1名の場合には先鋒を空位とすること。
- キ 但し、1回戦開始時点で補欠が不在のチームにおいて、大会中に欠員が生じた場合には後ろ詰めにはせず、欠員の位置を空位とすること。
- ク 外国人留学生のチーム人員は1名以内とする。

6. 競技規則

- ① 国際柔道連盟試合審判規程（2022-24）および東京都高等学校体育連盟柔道専門部申し合わせ事項による。

② 「優勢勝ち」の判定基準

個人試合・団体試合ともに「技あり」又は「僅差」以上とする。「僅差」とは、両者にスコアが無い、あるいはスコアが同等であるが、「指導2-0」の場合を指す。

ア 個人試合では、規定試合時間が終了した時点で、両者にスコアが無い場合、又はスコアが同等である場合、指導の差が1つ以下であれば、延長戦(ゴールデンスコア)によって勝敗を決する。延長戦において、両者に指導の差がつく宣告を行った時点で試合を終了し、指導の数が多い選手が敗者となる。すなわち、指導差1つで僅差となる。

イ 団体試合では、チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦の判定基準は個人試合に準ずる。

③ 試合時間は、団体試合、個人試合ともすべて3分間とする。ただし、延長戦(ゴールデンスコア)は、時間制限を設けない。

7. 競技方法

詳細については、東京都高等学校体育連盟柔道専門部「大会実施規程」を参照すること。

8. 大会参加費

男子団体試合 : 1 チーム 10,000円

女子団体試合 : 1 チーム 7,000円

大会申込用紙に必要事項を記入の上、学校長・責任教諭の出場承認印を押して、大会参加費とともに各支部指定日時の代表者会議時に提出のこと。

9. 表彰

① 団体試合(男子・女子)

ア 上位8チームに表彰状を、また上位4チームには楯を授与する。

イ 優勝チームに優勝杯を贈る。

② 前年度団体試合優勝チーム(男子・女子)にレプリカを授与する。

10. その他

支部大会は4月24日(日)までに行うこととする。都大会組合せ会議は4月25日(月)に講道館第1会議室にて行う。なお、支部代表者会議等については、支部大会の2週間前までに各支部長が責任を持って加盟校に連絡する。